

京都市美術館名品展

# 京の美人画 100年の系譜

2017.4.8[土] - 5.21[日]

開館時間 / 午前10時 - 午後5時 (最終の入場は午後4時30分まで)

休館日 / 毎週月曜日

観覧料 / 一般(高校生以上) 1,000円(900円) / 小・中学生 500円(450円)

\* ( )内は20名以上の団体料金

\* 岡崎市内の小中学生は無料 (わくわくカードまたは学生証を提示)

\* 各種障がい者手帳の交付を受けている方及びその介助者は無料

特別割引 / 着物でご来館の方は、通常観覧料の半額

主催 / 岡崎市美術博物館、中日新聞社

特別協力 / 京都市美術館

協力 / 岡崎呉服協同組合



岡崎市美術博物館 [マインドスケープ・ミュージアム]



理想の女性美の描出を目指した「美人画」は、江戸期の浮世絵の伝統を受け継ぎつつ、明治期以降一つのジャンルとして確立しました。描かれる対象は、優美で品格高い女性の姿だけではなく、市井の女性のあるがままの姿、内面や真の姿に迫った革新的な女性像など、時代の様相を反映し、多様化していきました。

本展でご覧いただくのは京都市美術館所蔵の美人画の優品60点です。京都市美術館は1933(昭和8)年の開館以来、明治期以降の京都を中心とした美術・工芸品を収集し、特に京都画壇隆盛期の作品の充実は、他に類を見ないものとなっています。京都画壇で制作された美人画の名品を通して、多彩な女性の美をご鑑賞ください。

### イベントのご案内

#### 【講演会】

「京都の美人画の歴史」

日 時 / 4月15日(土) 午後2時～3時30分  
 会 場 / 当館1階セミナールーム  
 講 師 / 尾崎真人氏(京都市美術館学芸課長)  
 定 員 / 70名 先着順(当日午後1時より整理券配布予定)  
 聴講無料

#### 【展示説明会】

高田啓史氏によるスペシャルギャラリートーク

NHK朝の連続テレビドラマ小説の指導監修や、きもの文化検定実行委員長などを務める高田啓史氏と、岡崎市の呉服店店主 荒川貴夫氏をお招きして、着物のプロの視点から作品を解説いただきます。

日 時 / 5月7日(日) 午後2時～  
 講 師 / 高田啓史氏(小紋屋高田勝主人)  
 荒川貴夫氏(くすや呉服店店主)  
 参加費 / 無料(ただし当日の展覧会観覧チケットが必要です)

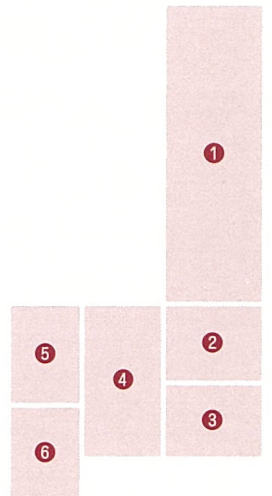
学芸員によるギャラリートーク

日 時 / 4月16日(日)・29日(土・祝)  
 5月3日(水・祝)・5日(金・祝)・13日(土)・21日(日)  
 全日とも午後2時～  
 参加費 / 無料(ただし当日の展覧会観覧チケットが必要です)



# 京の美人画 100年の系譜

京都市美術館名品展



- ① 上村松園《春光》 昭和戦前期
- ② 菊池契月《少女》 昭和 7(1932)年
- ③ 土田麦僊《平牀》 昭和 8(1933)年
- ④ 北野恒富《浴後》 明治45(1912)年
- ⑤ 丹羽阿樹子《遠矢》 昭和10(1935)年
- ⑥ 由里本景子《望遠鏡》 昭和15(1940)年
- 表面：上村松園《晴日》 昭和16(1941)年



## 岡崎市美術博物館 [マインドスケープ・ミュージアム]

〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町峠1 岡崎中央総合公園内  
 Tel:0564-28-5000 Fax:0564-28-5005  
<http://www.city.okazaki.lg.jp/museum/index.html>



バス:名鉄東岡崎駅北口バスのりば②番から「中央総合公園」行に乗車、「美術博物館」下車徒歩3分  
 ※土日祝日はバスのりば①番「中央総合公園」行の「おかざきエクスプレス」(視点快速バス)もご利用いただけます  
 お車:東名高速道路「岡崎インター」から約10分